心をひとつに

秋田県人会 九州・沖縄

題字：ばんば三郎

福岡から秋田への贈り物、冷暖房完備の観覧車が移設



福岡市東区香住ヶ丘にあった遊園地「香椎花園」の観覧車が2023年4月から秋田市大森山動物園内の遊園地に移設され動き始めました。直径（高さ）36m、冷暖房完備、16基のゴンドラを備えたバリアフリー設計です。香椎花園では6年前の2017年3月に設置したばかりで、閉園までの4年間使われただけの新しい遊具です。福岡で解体された観覧車はトラック30台に載せられ博多湾を眺めた福岡から新天地に着きました。

移設された観覧車の緑色の支柱やピンク・水色・黄色と塗装は、そのままです。基礎工事に約1億円かかったそうです。観覧車の名称はフランス語で「花」を意味する「フルール」。動物園の新しい魅力になりました。これまで大森山の観覧車は、冷暖房がなく、夏場はゴンドラ内が気温40度にもなっていました。今年の夏は秋田も福岡より気温が高い日が多く、家族連れは、涼しい観覧車から寒風山や秋田市内の風景を楽しんでいました。寒い冬も快適に景色を楽しむことができます。大人4人がゆっくり座れるゴンドラは、以前の観覧車に比べて動きもスムーズで乗り心地も良いと言う事です。1周、約8分の旅です。

秋田県遺族連合会が沖縄へ慰霊巡拝



秋田県遺族連合会　沖縄戦跡墓霊巡拝団　令和5年3月8日　於千秋の塔

秋田県遺族連合会が3月7日から9日まで沖縄県を3年ぶりに訪ね、慰霊巡拝と糸満市摩文仁の丘にある千秋の塔前で追悼式に臨みました。8日の午前9時半から営まれた追悼式には、秋田県から沖縄戦で亡くなった方のご遺族13名と佐竹敬久・知事の代理として秋田県健康福祉部の高橋一也次長ら2名が参列し、秋田県人沖縄会の木村昭男会長と宮城由美子副会長も出席されました。

秋田県人沖縄会と福岡秋田県人会から供花を贈りました。これまでの追悼式には沖縄県や地元の糸満市、沖縄県遺族連合会も参列していましたが、コロナの感染が終息していないという判断で秋田県側だけの追悼式になりました。

そーはくライブ、ビデオ

福岡・秋田県人会、会員の「そーはく」（伊藤和憲さん）が3月21日、佐賀県庁に近い佐賀市松原の喫茶室「蝙蝠（こうもり）」で昼夜2回のライブをしました。お堀端にある会場の外は薄紅色のトキワマンサクが春雨に濡れていました。

昼夜とも、それぞれ約20名のお客さんで会場が一杯になる中、自らを「目覚まし系」と言いながら、力強く、やさしく、ギターを奏でながら歌い上げました。

「そーはく」は、昨年10月、10年勤めた会社を退職し、ギターやウクレレの弾き語り教室を主宰し、現在35名の生徒を抱えています。秋田に住むお母さんからは帰ってくるように言われているそうですが、しばらくは、福岡県筑後市を中心に活動するという事です。



その「そーはく」が、8月12日（土）17時5分から20分までRKBラジオ「林田スマのおかあさんにバンザイ」に出演しました。誰のこころにも生き続ける母のことば。母の“ことば・教え・導き”に寄り添って生きるパーソナリティー林田スマさんは、多くのリスナーの共感を得ています。番組開始から23年、RKBラジオの長寿番組のひとつです。

﨑野哲平さんから近況報告

放送局カメラマンとして福岡市から秋田市へ転任した﨑野哲平さんから近況が届きました。

「今年1月末、着任しました。28歳です。当時、生後2か月の女の子と妻の初めての秋田生活でした。最初は冬の厳しい寒さに3人とも、かなり堪えておりましたが、春を迎え、由利本荘市の朝市や三種町のジュンサイ採りなど自然豊かな秋田を満喫出来るようになりました。これから四季折々の秋田を体感できる事を嬉しく思っております。」



シンジーコンサート



福岡・秋田県人会会員の演歌歌手・シンジー（麻生進さん）が5月13日（土）14時から福岡市中央区天神のアクロス福岡・円形ホールでCDデビュー10周年のソロコンサートを開催しました。1941年生まれで、今年82歳になったシンジーは、3月から週3回の通院という身体です。会場には、沖縄や佐賀、久留米などからプラカードなどを抱えた約60人のファンが詰めかけました。2部構成で、1時間半に及ぶコンサートは全部で20曲。東海林太郎の「母に捧げる唄」や「東京ラプソディ」、「男なら」などの昭和と人生を優しく、時に力強く歌い上げ、体調への心配を吹き飛ばすようでした。



芹沢幸子さん展覧会



福岡・秋田県人会、会員で洋画家の芹沢幸子さんが10月1日（日）～7日（土）、11:00～19:00、東京都中央区銀座7－10－8の「新井画廊」で個展を開催し、芹沢さんは会場に毎日、詰めました。

芹沢さんの油絵「街角の二人」は、F4サイズ、縦333mm×横242mm。「高速道路で見つけた人のいる景色。いつの日の事であったか、幾年前の事なのか、、、。憶えているのは時速130キロで走っていた高速道路の向こうで話している人を見かけたときの何だかやさしくなった気持ちを描きました。」と作品に文章を添えています。

新体操、高橋亜季さん、東奔西走、続く

新体操クラブ「サザンティンカーベル」の指導者高橋亜季さんの東奔西走が続いています。毎週の福岡市、大野城市、東京都港区、神奈川県川崎市と活動の範囲が広く、深くなっています。8月11日（金・山の日）は秋田市で2回目の里帰り新体操・体験会を開催しました。秋田豪雨の直後で開催が危ぶまれましたが、被災者応援の意味で親子、幼児、小学生、大人のいずれも参加費を無料にされました。



この体験会の様子は、秋田テレビでも紹介されました。写真は、9月18日、福岡市中央区六本松、福岡市科学館のサイエンスホールで開催した福岡市教室、初の発表会です。幼児6名、小学生12名が演技を披露し、久留米市や福岡県小郡市で活動している新体操クラブや男女混合のTADRGも賛助出演しました。発表会の司会は、北東北3県合同事務所勤務で秋田県庁職員の北村萌華さんが務めました。

九州国立博物館に秋田犬・ナマハゲ

５月５日（金）こどもの日に九博・九州国立博物館に秋田犬の子犬6匹とナマハゲ2匹が現れました。九博で開催中の特別展示「誕生250年記念　秋田蘭画ことはじめ　それは『解体新書』から始まった」にあわせて秋田県福岡事務所が「いがねばね！秋田フェア」を開催しました。



会場では、みちのく夢プラザの出張販売や秋田を旅するパネル展もあり、会場を訪れた家族連れは、ナマハゲと記念撮影をしたり、秋田犬の子犬と触れ合っていました。秋田蘭画については、九博・文化財課の主任研究員、畑靖紀さん（写真右側）が分かりやすく解説していました。畑さんは秋田出身ですが、九博には、もうひとり、秋田出身の主任研究員・大高広和さんがいらっしゃいます。大高さんは、ナマハゲ役でした。特別展示は6月11日まで行われました。

秋田犬つばき、男鹿から宮崎へ、元気です

秋田県男鹿市の道の駅オガーレの初代駅長で福岡県宗像市の山崎宏幸さんがオガーレから連れ帰った看板犬の秋田犬「つばき」が今年6月から宮崎県小林市で暮らしています。

「つばき」は雌で4歳になりました。山崎さんは、今年67歳。福岡県宗像市の道の駅「むなかた」の駅長公募に手を挙げて初代駅長として九州の道の駅・直売部門で売り上げ一番に育て上げました。その腕を買われてヘッドハンティングされ、2018年から3年間、今度はオガーレの初代駅長を務め黒字化を達成しました。2021年6月にオガーレを離れる際、「つばき」が山崎さんに懐いていたため、一緒に連れて帰りました。

宗像市を経て大分県日田市の商業施設運営を手伝った山崎さんは、今年6月から宮崎県小林市の道の駅「「ゆーぱるのじり」を手伝うことになりました。小林市では一軒家を借りて住んでいる山崎さん。夏場は暑い小林市ですが、「つばき」はエアコン完備の涼しい部屋で元気に暮らしているそうです。男鹿市から南西に直線距離で1200㌔近い距離を移動しての新天地です。

須田健太郎さん（FBSアナウンサー）



秋田市出身の須田健太郎です。幼少期に仙台に引っ越しをしたため、秋田に住んでいた時間は短かったですが、毎年祖父・祖母に会いに帰秋していました。秋田は大切なふるさとです。秋田に帰った際に必ず食べていたのが「佐原商店のうどん」です。昭和レトロのうどん・そば自販機から出てくるうどん。できあがった時の「チン」という音。天井からぶら下がっていた「とうがらし」。今でもあの光景は鮮明に覚えています。寒い中、祖父・祖母と体を寄せ合いながら食べたあの味は、私のふるさとの味です。今でもセリオンの中で食べられるので、大人になっても帰った際は必ず食べています。

そんなうどん好きの私は、柔らかい麺のうどんが有名でもある九州の福岡県でアナウンサーをしています。福岡ソフトバンクホークスの試合の実況をしたり、夕方の情報番組でリポーターなどをしています。情報番組では「スダさんは御朱印がお好き」というコーナーを担当。これまで主に福岡県内の神社約50社を訪れ、御朱印のすばらしさを伝えてきました。秋田県にもすてきな御朱印が数多くあると思いますが、福岡県のおすすめの御朱印が頂ける神社を少しだけ紹介させてください。まずおすすめしたいのが「櫛田神社」です。博多の総鎮守と言われ、博多祇園山笠で有名な神社。ここの御朱印は、10人の書き手がいて、誰に書いて頂くかはその日の運！どの方も味がある字で記していただけます。ぜひ7月の山笠の季節に福岡に来て頂き、御朱印を頂いてください。もう1社は、八女茶が有名な福岡県八女市にある「福島八幡宮」です。ここは約20種類の御朱印があり、切り絵や手すき和紙の御朱印など、おもしろい御朱印が多数あります。ぜひおいしい八女茶を飲んで、御朱印も頂いてください。

福岡県で働いていますが、秋田のことを思い出すこともたくさんあります。いつもバッグの中に忍ばせている「なまはげの革製キーホルダー」が、私を守ってくれています。

離れていても、いつも心の中にふるさとが。これからも秋田魂でがんばります！！

秋田九州人会で歓迎会



8月9日（水）18時から、秋田市大町の居酒屋「秋田乃瀧」で秋田九州人会の新会員歓迎会がありました。この会は、名前のように秋田で生活する九州沖縄出身者の親睦を深め、秋田の発展につなげようとする会です。

新会員は、女性4名、男性2名の計6名です。女性は、S/Jリーグに所属する北都銀行・社会人バドミントン部員で佐賀女子高校から今年4月に入った永淵妃香（ひめか）さん18歳、佐賀県・多久高校出身の田中果帆さん22歳、佐賀県・多久高校出身で今年からマネージャーを務める江里口玲奈さん21歳、それに熊本県八代市出身でコーチの田中志穂さん30歳です。男性は、熊本市出身で4月の秋田市議会議員選挙でトップ当選した飯牟礼克年さん28歳です。飯牟礼さんは、新聞記者の経験もあり、秋田豪雨では、災害廃棄物処理の経験を持つ熊本市職員を被災地に派遣する事業を仲介されました。いずれも10代20代などの若者で秋田に新しいチカラをもたらしてくれると思います。今回は佐賀県鹿島市の市議会議員、池田廣志議員も飛び入り参加しました。

バドミントンの女性は、皆さん健啖家で名物の石焼桶鍋に舌鼓を打っていました。バドミントンの女性4人には、由利本荘市のボランティアグループから秋田米5キロがプレゼントされたほか、全員に佐賀の名物お菓子も振舞われました。秋田九州人会、会員の中には昭和48年の「48豪雪」の時に秋田に来た方も。雪は1階の屋根まであり、雪の階段を降りて玄関に入った事や、雪道の歩き方が分からず何度も転んだこと、月に1回は九州の実家に帰れるようにするからと言われて嫁いだという会員もいます。

福岡

4年ぶりに開催の「博多どんたく」に参加

5月3・4日に開催された「博多どんたく」は、なんと！200万人の人出でした。福岡・秋田県人会、青森県人会、岩手県人会などで構成する「みちのく夢プラザ隊」として参加しました。ナマハゲ3匹を含めて約80名の参加で4年ぶりの博多どんたくを堪能しました。





みちのく夢プラザ歓送迎会／福岡・秋田県人会総会／懇親会

3月17日（金）18時から福岡市中央区大名の居酒屋「つつじ庵」で、みちのく夢プラザ職員の歓送迎会がありました。秋田県庁職員の2名を囲んで、秋田県人会から8名が参加しました。秋田県の小野貴久次長が4月から由利地域振興局に転勤されました。小野次長は、2020年4月に着任し、コロナ感染拡大の中で、みちのく夢プラザの休業や九州沖縄地区への秋田県産の産物の販売拡大など厳しい3年間を過ごされました。小野次長と入れ替わりで鹿角地域振興局から4月に着任したのは羽沢勝己さんです。羽沢さんは、3回目の福岡勤務です。福岡で結ばれたという、ご夫妻は福岡が大好きで、みちのく夢プラザの更なる発展に尽くしたいとのことです。

4月15日に2023年度総会をアークホテルロイヤル福岡天神・花水木にて開催しました。秋田県副知事の神部秀行氏が来福し、新入会員の紹介、人事改選、2023年度の事業計画等の協議など、対面での集いのひとときとなりました。総会では、中村靖会長、麻生敏雄理事、佐々木耕二監査役が退任され、新たに渡辺悦子理事、村木千隼理事、伊勢新二監査役、今野正春暫定会長が選出されました。また、新入会員として保坂善真さん、丸野悟史さん、村木千隼さんが紹介され、福岡秋田県人会に新しい風が吹きました。新体制となる2023年度、福岡秋田県人会　どうぞよろしくお願いいたします！！

福岡・秋田県人会は、9月30日（土）福岡市中央区輝国のヒルトップリゾート福岡（アゴーラ山の上ホテル）ビアテラスで親睦会を行いました。夕方5時30分から会食が始まりました。あいにくの雨模様の天気でしたが、「これもまた思い出だね」って言う和やかな感じでスタートしました。当初よりも人数が減って9人でしたが、美味しくそして楽しく過ごしました。ブッフェスタイルでしたが、肉よりもイカ焼きの人気をみていると東北人の集まりだなって感じで皆で笑っていました。次回もまた楽しいイベントを企画して交流の場が増えるようにと会長が言っておりました。


みちのく夢プラザ歓送迎会



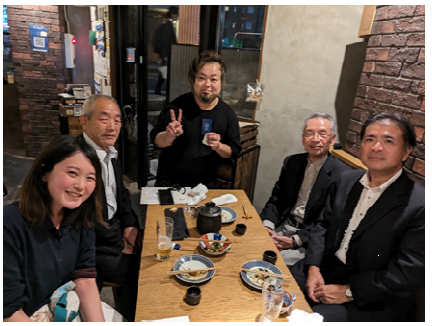
福岡秋田県人会総会


福岡秋田県人会親睦会

鈴木徹さんを囲んで

10月5日（木）18時から福岡市中央区赤坂の居酒屋「うみさと」で7月に福岡財務支局に転勤されて来られた鈴木徹さんを囲む会を開きました。

鈴木さんは転勤が多く、秋田や兵庫、北海道、沖縄と勤務されました。国有財産管理や金融機関への指導、地域経済情勢の把握が主な仕事です。



この日の参加者は、県人会理事の伊勢さんや村木さん、秋田県職員の北村さん、それに中村でした。会場の「うみさと」は、ご主人の村上弥（ひろし）さんが由利本荘市出身でお母さんが送ってきたという「ミズの実の醤油漬け」や「イナゴの佃煮」などでビールや福岡の地酒を頂きました。店は長崎県平戸市から直送の魚にこだわっていて、白レバーもとろける味でした。締めは、手作りのおむすびでした。村上さんは、福岡に来て10年、この店は開店から4年で別にギフト用の創作フラワーショップも営んでいます。

熊本秋田県人会 3年ぶりの懇親会

熊本

7月1日（土）夕方、梅雨の豪雨の合間を縫うように熊本秋田県人会は、熊本市中央区花畑町の居酒屋で懇親会を開催しました。2020年2月1日以来、3年ぶりです。コロナで、こうした会合ができなくなっていました。参加したのは、佐賀、福岡からの3人を含む14人。初めてご夫婦で参加したという方を入れて、ご夫婦での参加は2組でした。世話役は、水俣市の長谷川忠志さんです。長谷川さんの乾杯の発声に続いて、初参加の方の自己紹介や会員の近況報告などがありました。



長谷川さんは、アルコールを口にしませんが、こうしたお世話を長く続けています。コロナ前は3次会まであるのが熊本のしきたり。果たして今回はどうだったでしょうか。18時から3時間に亘った懇親会。また1年後の再会を約束して散会しました。熊本県地方は翌2日から梅雨の豪雨が激しくなっており、長谷川さんは、合間を縫って開催出来て良かったと胸をなでおろしていました。

沖縄

○ 2024年1月20日（土）秋田県人沖縄会、新年会、会場など未定

event

福岡

○ 2024年1月20日（土）福岡・秋田県人会、新年会、会場など未定

○ 2023年11月3日（金・文化の日）に福岡市早良区の室見河畔公園で予定されていた東北芋煮会でのキリタンポ鍋チャリティは、市役所から公園の使用許可が下りず、中止になりました。

東日本大震災以来続いた芋煮会の10年目の区切りのイベントでしたが、他会場でも開催条件が整いませんでした。大変、残念です。事情を、どうぞ、ご理解下さいますようお願い致します。

募集

会報へのご意見、ご感想、投稿をお願い致します。

メールアドレスを変更された方も下記まで御連絡ください。

宛先は、福岡・秋田県人会、中村靖、

メールアドレス：o-nakamura@mms.bbiq.jp

郵送の宛先　：〒819-0013、福岡市西区愛宕浜2－3－11－1406

